

1 題材名 「見つけよう。生活の中の美」

2 題材の目標

- 生活の中の製品について、目的や機能と美しさの調和、つくり手の意図などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとする。 (美術への関心・意欲・態度)
- 生活の中の製品について、目的や機能と美しさの調和、つくり手の意図などを感じ取り、自分の考えをもって味わうことができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

中学校学習指導要領解説美術編（平成20年9月文部科学省）では、美術科改定の要点(1)アにおいて「美術文化についての理解を深め」を加え、「生活の中の美術の働きや美術文化についての理解を深める」ことを一層重視すると示されている。また、第1学年B鑑賞の目標(1)アでは、「美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、思いや対象の見方や感じ方を広げること」が重要であるとも示されている。生徒たちがより豊かに暮らすために、生活の中に美を感じる力は生涯を通して必要不可欠な力である。美術の授業において、生活の中に美を発見し、そのよさやつくり手の思いなどを感じながら鑑賞することは、生徒たちが将来豊かに暮らしていく素地をつくるためにも重要であると考えられる。

(2) 生徒の実態

生徒の実態調査から、小学校での鑑賞学習の内容を質問したところ、お互いの作品のよさを見付け伝え合うことが主であった。作品の製作前に、教科書や前年度製作の参考作品を見て感想を言うという活動も挙げられた。レプリカの美術作品を鑑賞した経験があると答えた生徒もいたが、数人であった。小学校において、生活の中のデザイン等を鑑賞した記憶は、生徒たちにはないようである。また、生活の中に美しいと思うものはあるか聞くと、ないと答えた生徒がクラスの半数近くいた。数多くの製品に囲まれて生活していながら、どの製品に対しても美を感じないと考えている生徒が多くいることがわかった。生徒たちは、小学校での授業及び普段の生活において、生活の中に美を感じさせる働きかけを受けたり、活動をしたりした経験がほとんどないと思われる。

(3) 指導観

生徒の実態を受け、生活の中の美を実感させる鑑賞の時間が必要であると考え、生徒の生活の中にあるものを鑑賞の対象とすることにした。まずは、生徒たちがいつも使用し、共通に持っているものとして、筆箱を鑑賞し、機能やデザインを比較できるようにする。筆箱は、機能を追求したものや、見た目の面白いものなど様々な製品がある。筆箱の機能、デザイン、実際の使い勝手などについて明らかにしていくことで、よさや美しさ、つくり手の思いを感じ取することは、比較的容易にできるのではないかと考える。次に、鑑賞する際にグループで話し合い、友人たちの筆箱と比較できるようにする。製品には様々な製作意図があることや製品をよいと思う価値観は人それぞれであることが分かり、見方や感じ方が広がるのではないかと考える。身近な製品を話し合いながら鑑賞していく中で、生活の中における美を、自分の力で感じ取り発見していく力を付けさせたい。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
生活の中の製品について、目的や機能と美しさの調和、つくり手の意図などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 (ワークシート・観察)	生活の中の製品について、伝える、使うなどの目的や機能と形や色彩などの美しさの調和、作品全体のイメージ、つくり手の意図などを感じ取り、自分の考えをもって味わっている。 (ワークシート・観察)

5 指導と評価の計画（3時間扱い ○は本時）

次	時	学習のねらい，学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 【 】は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	①	<ul style="list-style-type: none"> ●自分や友人の筆箱のよさを分析し，生活の中の製品について目を向ける。 ・自分の筆箱を分析する。 ・自分の筆箱のよさを友人に紹介する。 ・友人の筆箱のよさを感じ取り，味わう。 	◎			◎	関：自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和，作者の心遣いや願いなどに関心を持ち，主体的に感じ取ろうとしているか。 【話し合いの様子・記述】 鑑：自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和，つくり手の意図などを感じ取り，自分の考えをもって味わっているか。 【発言内容・記述】
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中の製品から，自分が美しいと思うものを一つ選び，レポートにまとめる。 	◎				関：生活の中の製品に目を向け，自分なりの価値意識をもって美しいと思う物を選んできたか。 【発言・レポート作成の様子】
	2	<ul style="list-style-type: none"> ●作成したレポートを発表し合い，生活を豊かにする美術についての理解を深める。 ・自分が美しいと思う製品についてグループと全体に発表する。 ・相互鑑賞をする。 	◎			◎	関：友人や自分の選んだ製品について，美しいと思う点を中心に主体的に感じ取ろうとしているか。 【発表・レポートの記述】 鑑：友人の選んだ製品について美しいと思う点を感じ取るとともに，自分の考えをもって共感をしたり新たな発見などをしてしているか。 【発表・レポートの記述】

6 本時の学習

(1) 目標

- 自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和，作者の心遣いや願いなどに関心を持ち，主体的に感じ取ろうとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- 自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和，作者の心遣いや願いなどを感じ取り，自分の考えをもって味わうことができる。
(鑑賞の能力)

(2) 準備・資料

筆箱，ワークシート，プロジェクター，スクリーン，パソコン

(3) 展開

学習内容	指導上の留意点 (◎評価)
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="256 293 759 416" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>見つけよう、生活の中の「美」。 紹介しよう。わたしの筆箱。</p></div> <ul style="list-style-type: none">・アンケート結果を聞く。・コクヨアートアワードについて知る。 <p>2 自分の筆箱を分析し、よさをグループで話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) ワークシートに沿って自分の筆箱を分析する。(2) ワークシートを基に、順番に自分の筆箱のよさを紹介する。(3) 筆箱について、紹介し合ったことから、気付いたことなどをワークシートにまとめる。 <p>4 授業のまとめと次時の予定を聞く。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 今日の学習について自分の考えを発表する。(2) 次時の予定を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・生活の中の美についてのアンケート結果を紹介して、これから学習する内容について意識付けをする。・身の回りのデザインの例として、コクヨアートアワードのホームページから「カドケシ」などを紹介し、本時への意欲を持たせるようにする。・自分の筆箱について、分析する時間を十分にとる。・ワークシート内のレーダーチャートの使い方を説明し、筆箱の分析を進めやすくする。・グループ全員が順番に発表することを指示する。・インタビュー形式にすることで、発表をスムーズに行えるようにする。 <p>◎自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和、作者の心遣いや願いなどに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしているか。 (発言・ワークシート)</p> <p>◎自分や友人の筆箱の目的や機能と美しさの調和、作者の心遣いや願いなどを感じ取り、自分の考えをもって味わうことができたか。 (発表・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none">・筆箱を選ぶ視点は様々であり、いろいろな考えを知ることで見方が広がっていくことを、発表者の意見を生かしながらまとめる。・次時は、生活の中で美しさを感じる製品のレポートを作成することを伝え、それを見付けておくように伝える。